

令和元年5月30日

どうなん・追分シーニックバイウエイルートによる「奥尻町ロビー展」を開催

～センチュリーロイヤルホテルとの協働によるルートのPR活動（第2弾）～

シーニックバイウェイ北海道「どうなん・追分シーニックバイウエイルート」が「奥尻町ロビー展」を下記のとおり開催します。

このロビー展は、豊かな自然・歴史・文化・食資源があるどうなん・追分シーニックバイウエイルートにおける、「北の大地の地域力再生へのチャレンジ」をテーマとした地域の新たな取組（歴史や文化、自然資源のPRや地域づくり等）及び奥尻島の自然や観光名所を広く知っていただくことを目的として、パネルによりご紹介します。（詳細別紙）

記

- 開催期間 : 令和元年6月1日（土）から6月30日（日）まで
- 開催場所 : センチュリーロイヤルホテル 2階ロビー
【札幌市中央区北5条西5丁目2番地】
※入場は無料です。
- 主催 : どうなん・追分シーニックバイウエイルート運営代表者会議事務局
【問合せ・連絡先 : 佐藤事務局長（01392-6-7357）】

※どうなん・追分シーニックバイウエイルートの詳細については、シーニックバイウェイ支援センターホームページを御覧ください。

<http://www.scenicbyway.jp/routes/donan>

※函館開発建設部では、シーニックバイウェイ北海道の取組を支援しています。詳細は、シーニックバイウェイ北海道推進協議会ホームページを御覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/dou_kei/ud49g700000n0ut.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部
道路計画課長 谷内 敬功 (0138)42-7614
広報官 花上 真美 (0138)42-7702



函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>

どうなん・追分シーニックバイウェイルートによる「奥尻町ロビー展」を開催 ～センチュリーロイヤルホテルとの協働によるルートのPR活動（第2弾）～

◆展示パネルの例（活動内容）

『どうなん・追分シーニックバイウェイルート』の活動紹介

●江差北前ひな語り（2月～3月）

江差町の「歴まち地区内（いにしえ街道）」を会場として、通りに面した店先や玄関先におひな様を展示し、見学に訪れた方々に暖かな空間を提供しながら交流を楽しむ取組です。
冬景色のなかの色彩あふれる暖かなお人形を飾ることで、魅力ある「いにしえ街道」の観光資源づくりを行います。



江差町歴まち地区内（いにしえ街道）のひな人形

●シーニック清掃活動（4月）

多くの観光客が訪れるゴールデンウィーク前の約2週間前を「シーニック清掃活動週間」と位置づけ、強風で吹き寄せられた漂流物や雪解け後に現れるたぐささんのゴミを拾ってきれいな景観づくりを行い、訪れる方々にきれいな景色でお迎えする活動です。
木古内町のサラキ岬周辺や、江差町横川・道の駅「北前船松前」付近で実施しております。



木古内町 サラキ岬

江差町 横川

●サラキ岬チューリップ活動（春～秋）

この取組は、シーニックバイウェイ北海道「どうなん・追分シーニックバイウェイルート」の活動団体である「木古内町観光協会」と「咸臨丸とサラキ岬に夢見る会」が主体となり実施されるもので、平成13年度から実施しており、平成30年度で16年目を迎えました。
毎年、7月にチューリップの球根の掘り起こし、10月には球根植え（約80種5万球）を行い、来春の開花に向け準備を行います。
咲き頃となる5月には「サラキ岬チューリップフェア」を開催し、訪れる方々の心を癒やす取組を実施しております。



木古内町 サラキ岬

◆展示パネルの例（ルート概要）

シーニックバイウェイ北海道 指定ルート

どうなん・追分 シーニックバイウェイルート

DONAN OIWAKE SCENIC BYWAY ROUTE
テーマ：「ひと」と「みち」がつづく
北の大地の地域力再生へのチャレンジ
エリア：木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町・厚沢部町・乙部町・奥尻町

ルートには豊かな自然・歴史・文化・食資源があり、各地域では連携を深めた新たな取組が始まっています。
北海道新幹線開業により新たな交流人口の拡大につなげたい今、「ひと」と「みち」の繋がりをより活動に反映させ、活力ある地域再生へチャレンジします。

- どうなんフットパスロードの作成
どうなん追分シーニックバイウェイルート内の歴史や文化、自然資源をPRするため、各地域で調査を行い、各町の代表的なフットパスロード、歴史の道を選出し、「どうなんフットパスMAP」を作成いたしました。
- 木古内町サラキ岬チューリップの植栽活動
国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、咸臨丸がオランダで作られた船であることから、約80種5万球のチューリップの植栽を行っております。
5月に満開を迎えるために7月には球根の掘り起こし、10月には球根植えを行い、酒路景観づくり、地域づくりとして活動を実施しております。
- 教育体験観光呼び込みプロジェクト
江差町いにしえ街道では、景観と文化を活かした「花旅行列」等体験型観光・イベントづくりを行っています。また、福島町千軒そば花鑑賞会についても芋掘り体験などができ、国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で鑑賞できる年々人気が増えています。

◆パネル展示場所

センチュリーロイヤルホテル 2階ロビー
(札幌市中央区北5条西5丁目2番地)
開催期間 令和元年6月1日(土)～6月30日(日)

(参考) 令和元年5月に開催した「シーニックバイウェイ 函館・大沼・噴火湾ルート展」の様子

